

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日時：令和元年5月14日（火）

9：25～10：10

場所：浜田市立松原小学校体育館

対象者：同校6年生 24名

指導者：○6年生担任 2名

○島根県古代文化センター 2名

1. 主題名

「学校周辺の遺跡と奈良の大仏」

2. ねらい

- ・ 「奈良の大仏」の大きさを、パズル体験を通して知るとともに、込められた先人の思いについて考える。
- ・ 体験型歴史学習を通し、歴史や文化財に対する興味・関心を高める。

3. 本時の展開

学習活動	指導者の支援および留意点
9：25～9：35（10分） ①はじめに～島根の歴史・文化の魅力～	・ 発掘調査で見つかった遺物や遺跡の写真パネルなどを活用。
9：35～10：00（25分） ②「奈良の大仏」の大きさを体験する ・ 1m四方のパネルをパズル形式で組み立てていき、高さ18mの大仏を完成させる。 ・ 大仏完成後、巨大さを体感できる写真を撮影。	・ 「奈良の大仏」の実物大パネルを活用。
10：00～10：10（10分） ③「奈良の大仏」について、造られた背景と、大仏の特徴について学ぶ。	・ 一方的な説明に終始せず、子どもたちが「気づき」「わかる」よう、質疑応答の対話形式で進行。

4. 準備物など

- ・ 体験用具 「奈良の大仏」実物大パネル
- ・ 説明用具 遺物、説明パネル